

数 学 B 学 習 指 導 案						
日 時	平成24年 5 月 3 0 日 (水) 第3限			指 導 者		
学 級	3 年 3 組	教 室	商業教室	教 科 書	改訂版 新編 数学B (数研出版)	
単 元	第4章 統計とコンピュータ					
指 導 目 標	統計についての基本的な概念を理解し、分散や標準偏差、散布図や相関係数などを扱い、データを整理・分析し、傾向を把握するための基礎的な知識や技能を身に付けさせる。 また、身近な資料を表計算用のソフトなどを利用して整理・分析し、資料の傾向を的確にとらえることができるようにする。		指 導 計 画	1 度数の分布・・・・・・・・・・4時間 2 相関・・・・・・・・・・3時間 3 資料の代表値・・・・・・・・・・3時間 4 資料の散らばり具合・・・・・・・・3時間 5 相関係数・・・・・・・・・・3時間 6 コンピュータによる統計処理・・・8時間 (本時はその3)		
本時の主題	ヒストグラムと相関図					
前時の課題	105ページのヒストグラムと110ページの練習7を確認しておく。					
目 標	1 ヒストグラムや相関図を、表計算ソフトを用いて作成できるようにする。 2 ヒストグラムや相関図から資料の傾向を把握できるようにする。					
本時の指導過程	学 習 内 容	時間(分)	指 導 上 の 留 意 点		評価場面及び評価方法等	
	導 入	本時の内容について確認する。	3	・表計算ソフトを起動させる。		・表計算ソフトを用いてヒストグラムを作成できている。 <数学的な技能> ・表計算ソフトを用いて相関図を作成できている。 <数学的な技能>
	展 開	1 表計算ソフトを使ってヒストグラムを作成する方法を学習する。	8	・度数折れ線の作成方法についても簡単に触れておく。		
		2 練習24を解く。 表計算ソフトに104ページの40人の身長の数値分布表を入力して、ヒストグラムを作成しなさい。	12	・早く作成できた生徒には度数折れ線も作成させる。		
	開 閉	3 相関図の作成方法について学習する。	10	・目盛りの設定を変えることで相関関係が調べやすくなることを理解させる。		
		4 練習25を解く。 110ページの練習7に示したx,yの各資料の相関図を、表計算ソフトを使って作成しなさい。	12	・110ページの練習7で作成した相関図とパソコンで作成した相関図を比較させる。 ・早く作成できた生徒には別の資料を与え、取り組ませる。		
程 整 理	1 本時のまとめをする。	3	・本時の要点を確認させる。			
	2 次時の学習内容を確認する。	2	・次時の内容である範囲、分散、標準偏差について簡単に触れておく。			
次時の課題	教科書116～117ページを読んでおく。					
備 考	普通科 II型類型 生徒数 22名 (男子 11名, 女子 11名)					